

【学生による ESD 活動支援】

大牟田市立みなと小学校 第2回オンライン学習交流会交流企画 活動報告書

社会科教育専修3回生 足立 繁郁

1. 日時 2020年12月3日(水) 13:10~13:40
2. 場所 Zoomによるオンライン会議
3. 参加者 学部3回生 足立 繁郁(社会科教育専修)、狗飼 菜々子(音楽教育専修)
学部1回生 梅原 彩華、松岡 花、松本 有未、森 恵里奈(音楽教育専修)
川口 綾菜、福西 隆生(英語教育専修)
次世代教員養成センター 中澤 静男、社会科教育講座 河本 大地
大牟田市立みなと小学校 みなと ESD 進め隊! 児童・教員

4. 内容

2020年12月3日、Zoomを用いて、福岡県大牟田市立みなと小学校と第2回目となる交流会が行われた。今回の交流会では、みなと小学校の子どもたちが四つのテーマに分けて、大牟田市やみなと小学校について紹介してくれた。まず一つ目は、大牟田の世界遺産について、世界遺産に登録されている明治日本の産業革命遺産の構成資産である宮原抗を取り上げ、紹介していた。次に二つ目は、令和2年7月豪雨災害についてだ。実際に災害を体験した子どもたちの経験をもとに紹介していた。そして三つ目は、みなと小学校のESDの取り組みについてだ。学年別にみなと小学校でどのようなESDの取り組みが行われているかについて紹介していた。最後に、大牟田の美味しい食べ物についてだ。大牟田名物草木饅頭について紹介していた。四つのテーマの紹介後、奈良教育大学の学生から質問をし、みなと小学校の子どもたちと交流を深めた。



みなと小学校の交流の様子

5. 活動を通じた学び

今回の活動を通して、私は二つのことを学んだ。一つ目に令和2年7月豪雨災害について、二つ目に、みなと小学校のESDの取り組みについてだ。

まず一つ目は令和2年7月豪雨災害についてだ。今回の交流会では、みなと小学校の子どもたちが、令和2年7月豪雨災害について紹介してくれた。校舎が浸水し、小学校から出られなくなったことや、自衛隊や県外の方々から支援を受けたことについてなど、実際に体験したからこそ分かる、豪雨災害の実態について、知ることができた。子どもたちが話してくれたことを受け止め、私も誰かに伝えていきたいと思った。

次にみなと小学校のESDの取り組みについてだ。みなと小学校のESDの取り組みの特徴として、海洋教育を中心に取り組んでいることを知ることができた。3年生の有明海の生態系調査や、4年生の浜辺のゴミの調査など、子どもたちが実際に海に行き、調べる学習が行われていることを子どもたちが紹介していた。奈良県は海に面していないので、海洋教育は扱うことが少ないテーマだ。よって今回このような活動があることを知ることができて良かったし、今後に生かしたいと考えている。

今後も交流会を継続し、奈良教育大学ユネスコクラブとみなと小学校の親交を深めるとともに、交流を通してみなと小学校の子どもたちから、学びたいと思う。